

広げようねっか つなげようねっか お互いさまの柏崎

介護高齢課

TEL43-9125 FAX21-4700

「自分の住んでいる柏崎で人生を全うしたいと思いますか？」



公益財団法人さわやか福祉財団
会長 堀田 力さん

11月19日(土)に行った、かしわざき幸齡未来フォーラムの基調講演で、こんな問いかけがあり、来場した約200人のほとんどが手を挙げました。



「自宅で最期まで安心して暮らせる自信がありますか？」

…この問いかけに手を挙げたのは10人弱。
このギャップはどうすれば埋められるでしょうか。



いざという時に助けてくれる、
相談できる相手を持つ



助けられ上手になる

多くの調査で、60歳を過ぎてから、相談できる人、助けてくれる人が多くいる人ほど、元気に長生きできるとの結果が出ています。

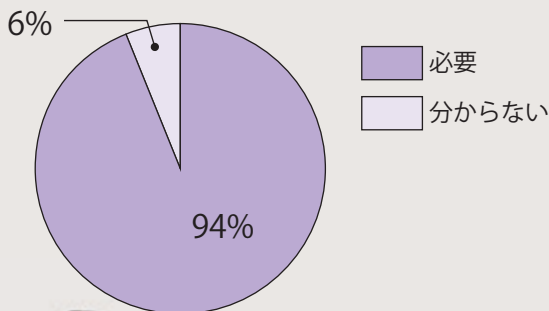
助けてくれる仲間を得るためには、まず人の役に立ち「ありがとう」と言ってもらえる経験を積み重ねること(ありがとうの貯金)が大事です。

困っている人の話を聞いて手助けをすることで、助けてもらう方の気持ちが分かります。いざ、自分が助けてもらう立場になった時、相手が快く助けてくれるような、助けられ上手になりましょう。

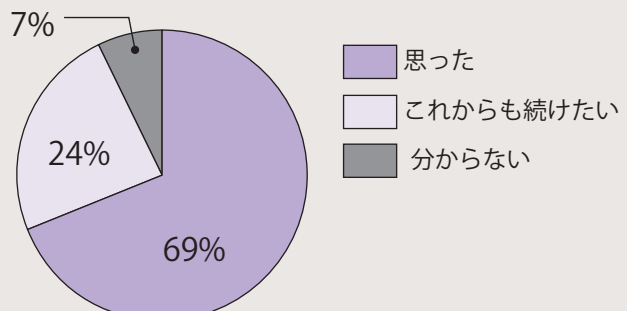
ご近所と良い関係を築くこと、いつでも皆と話せる居場所づくりをしていくことが、自宅で最期まで安心して暮らすことにつながります。

フォーラム参加者アンケート

お住まいの地域に助け合い活動は必要だと思いますか。



助け合い活動をしてみたいまたは続けたいと思いませんか。



助け合い、
大事ですね！

- 自分が高齢になった時を考えると助け合いは絶対必要
- まずは困っている人を助けて、自分が困ったときは助けてもらえるような関係をつくる事が必要だと学んだ
- ちょっとした事からでいいので、自分の地域でもやってみたいと思う

生活支援コーディネーター（以下 SC）が助け合いをサポート

みんなで助け合い、安心して暮らせる柏崎をつくっていきましょう。



SC は、地域の支え合いに関する相談役です。地区・町内の話し合いを進める手伝いや活動に取り組む方へ情報提供などを行っています。

「住み続けたい地域づくり」は始まっている SCが「助け合いのカタチ」を紹介

1

松波地区 カルタで知ろう 困り事

くらしのサポートセンター運営委員会で手書きのカルタを作り、利用者の生活上の困り事を聞きました。一番は「話し相手が欲しい」でした。

町内会とコミセンがしっかりタッグを組んで、助けたり助けられたり、お互いさまの松波を目指します。



いい方法ですね



松波コミセンセンター長
森 高志さん



2

別俣地区 予防接種もこれで安心

べつまたサポートの会員が、外出、畑の^{こうき}耕起、冬囲いの作業支援やワクチン接種の予約、付き添い支援も行っています。



心意気が頼もしい

コミセンとくらしのサポートセンターが一丸となり「この郷を守り、活かし、生きる別俣」作りに取り組んでいます。



べつまたサポート
池嶋 聖也さん



3

矢田町内会 今年もバッチリ冬囲い

高齢者に声をかけ、丁寧に聞き取りをして助け合いを進めています。かゆい所に手が届く活動（冬囲いや盆暮れの買い物代行、回覧板の内容を読んで伝えるなど）を無償で手助けしています。



矢田町内会長
山岸 弘さん（左）とお仲間

いずれお世話になるので、若い人たちにもこの活動を広げていきたいです。

なんてステキな助け合い



助け合い活動の先駆け 荒浜地区より

くらしのサポートセンター「荒浜アットホーム」の助け合い活動「お助け隊」で、平成 28（2016）年から住民同士でのごみ出し、買い物代行、病院付き添い、草取りなどを行っています。



荒浜お助け隊
品田 真弘さん

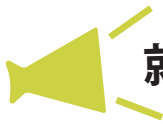
他の地区の活動状況を聞いて、うれしい気持ちになりました。2年前、見学に来られた時は不安そうだった方々が、自信をもって助け合いを行っていて、参考になります。お互いに頑張っていこうという気持ちになりました。

何かを始めたいと思ったら、くらしのサポートセンターえきまえへ

町内、地区、有志などでの助け合いに関する話し合いに SC が参加・協力します。くらしのサポートセンターえきまえ（TEL41-6583）、または介護高齢課へお問い合わせください。一緒に考えていきましょう。

詳細はこちら▶



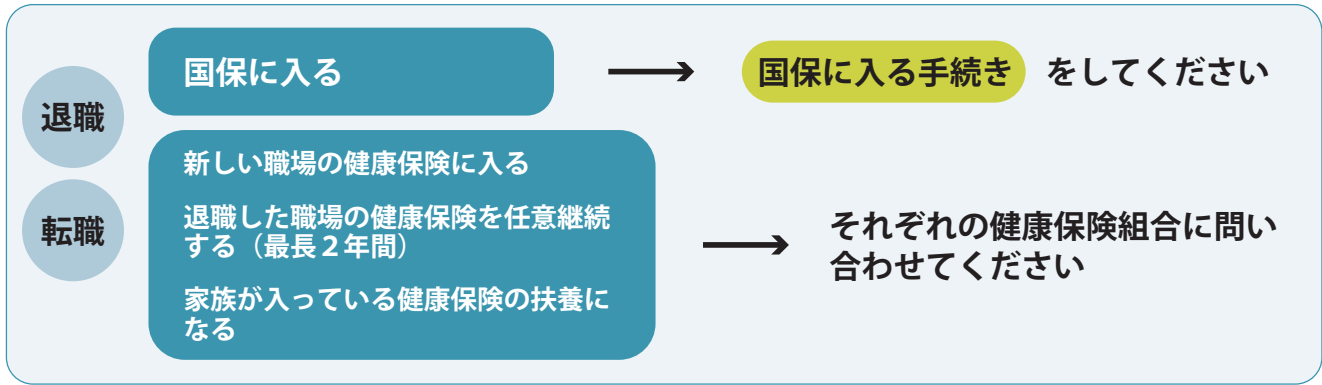
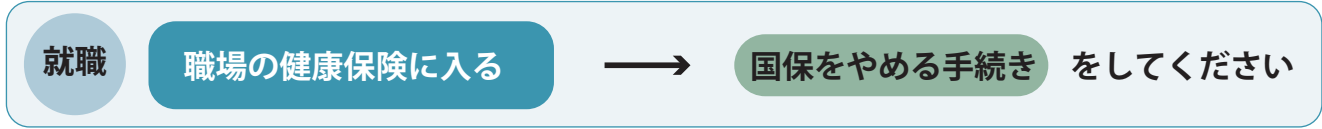


就職・退職などで健康保険が変わる方へ

国民健康保険の手続きはお早めに！

国民健康保険（以下、国保）の加入・脱退手続きは、市役所 1 階国保医療課、西山町事務所へ。

☎国保医療課 TEL21-2210 FAX24-7714



パート・アルバイトの方

次の①・②のいずれかに該当する方は、職場の健康保険に入ることになります。詳細は勤務先にご確認ください。

- ①勤務時間・日数が正社員の 4 分の 3 以上の方
- ②次の全てに当てはまる方

- 従業員数 101 人以上の事業所に雇用されている
- 1 週間の所定労働時間が 20 時間以上
- 雇用期間が 2 カ月以上見込まれる
- 月額賃金 8 万 8 千円以上
- 学生ではない

1 つでも該当しなくなったときは、職場の健康保険をやめることとなります



保険証が届いていなくても

職場の健康保険に入った日から、国保の保険証は使えません！

- 誤って使ったときは、市が負担した医療費を返還していただきます
- 職場の保険証が届いていないときは、医療機関の窓口で保険証が変わったことをお伝えください
- 国保をやめる手続きをしないと国民健康保険税がかかり続けます。早めの手続きをお願いします

市役所 1 階国保医療課・西山町事務所です手続きができます

詳細はこちら



	対象	必要なもの
国保に入る	●退職した方	●資格喪失連絡票 または離職票
	●パート・アルバイトで、勤務時間・日数が正社員の 4 分の 3 未満になった方	●資格喪失連絡票
	●家族が加入する健康保険の扶養を外れる方	●任意継続資格喪失連絡票
●職場の健康保険の任意継続をやめる方		●預貯金通帳 ●通帳印 ※口座振替を希望する方のみ。
国保をやめる	●正社員として就職した方 ●パート・アルバイトで、勤務時間・日数が正社員の 4 分の 3 以上になった方 ●家族が加入する健康保険の扶養になった方	●国民健康保険の保険証 ●職場の健康保険の保険証（または資格取得連絡票）

- ①手続きをする方の本人確認ができるもの（マイナンバーカード・運転免許証など）
- ②マイナンバーが確認できるもの
- ③委任状（別世帯の方が手続きをするときのみ）
- ④県単医療受給者証（持っている方のみ）

どう残す? どう使う?

公共施設をマネジメントしています

市は、平成28（2016）年2月に「柏崎市公共施設等総合管理計画」を策定し、公共施設の計画的なマネジメント（経営・維持管理）に取り組んでいます。

圃財政管理課 TEL21-2328 FAX22-5903

マネジメントの進め方ー4つの基本方針

① 廃止や複合化(多機能化)を行い、公共施設の総量を40年間で約2割削減

公共施設の総延床面積
平成27(2015)年 438,973㎡ → 令和37(2025)年 約351,178㎡
約2割減

② 「予防保全」による長寿命化の体制整備へ

壊れたら直す
↓
壊れる前に計画的に直す

③ 施設の複合化により機能・サービスを維持

施設 A 施設 B 施設 C
↓
複合化した施設 A

④ 道路、橋、上下水道なども計画的な保守と整備へ

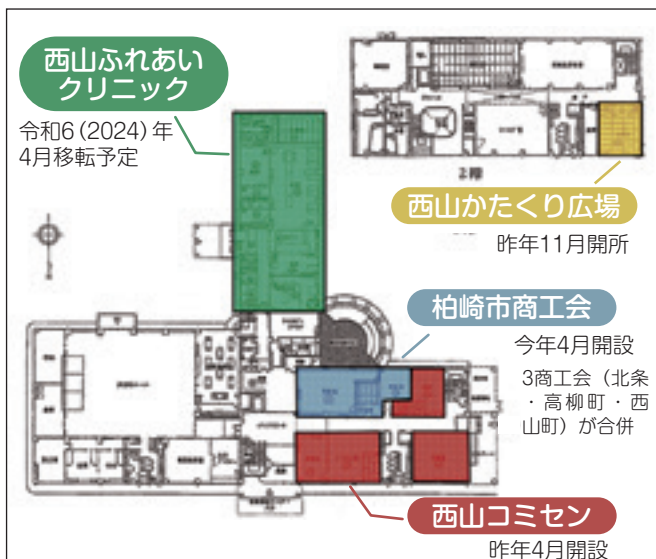
損傷が著しくなったら直す
↓
定期的な点検・診断結果に基づき計画的に維持管理

マネジメントの進捗状況

■モデル地区の先行取り組み

西山地区で西山町事務所周辺の公共施設機能の見直しと再配置を進めています。

西山町いきいき館は、従来の健康管理や福祉向上の機能に加え、「西山コミセン」「くらしのサポートセンター・西山かたくり広場」「柏崎市商工会」「西山ふれあいクリニック」が集約し、複合施設として生まれ変わります。



▲西山町いきいき館平面図

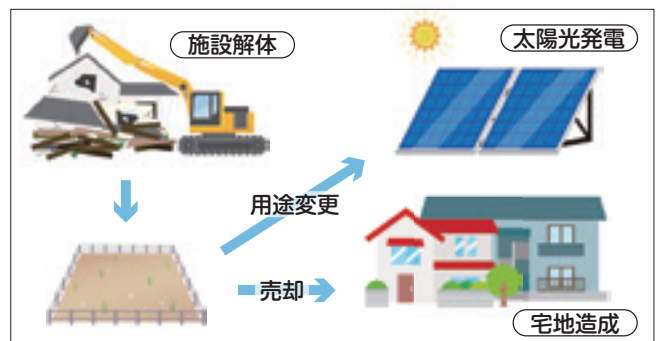
詳細は市HPで
公共施設等
総合管理計画



■未利用地・未利用施設の利活用の取り組み

施設の廃止や複合化により使わなくなった市有地・市有施設の、新たな利活用を進めています。

- 旧北条北小学校、旧かしわ荘は、低炭素エネルギーを供給するための再生可能エネルギー発電場所として、市が利用します
- 市が利用方法を見いだせなかった市有地は民間に売却します。旧野田小学校は流通倉庫建設地、その他は住宅地などにそれぞれ活用されています



●未利用施設は、解体までの間、維持管理費の削減を目的に貸付けを行います。「旧かたくりの里」は、高齢者・聴覚障がいのある方が通えるデイサービスセンターとして活用が開始されます

CASE No.41



企業がつくったものづくり大学

新潟工科大学

社会をチェンジする先端技術を、いつか柏崎で活用したい!

KEY PERSON

新潟工科大学 IoTソフトウェア工学研究室 教授 ^{ほり まさかず}堀 雅和さん

インターネットとモノを接続する技術として近年注目されている「IoT(アイオーティー)」。新潟工科大学の堀 雅和教授は、幅広い分野でIoTを活用できるよう、調査や研究を進めています。

すごいソフトウェアをつくる、その夢をIoT技術で実現したい

IoT技術を活かすためには、アイデアの創出やデータの収集に時間をかけ、

普段の生活を細かく分析することが新しい発見に繋がるといいます。堀教授の研究室には、IoT技術を農業にも応用できるのではないかと研究を進める学生もいて、様々な分野でその期待が高まっています。

インターネットの仕組みについて卓越した知識が必要なIoTですが、学生時代の堀教授は、プログラミングがとても苦手だったそうです。

「社会人になり、チームでプログラムを開発し、そのおもしろさを知りました。『バグ』を一日かけて追及する作業は、辛くもあり楽しかったですね」

次第に『すごいソフトウェアをつくらしてみたい』と考えるようになった堀教授、「この分野に飛び込んで何年も経ちますが、未だ実現していません(笑)。でも、そんな気概が、今では研究を進める原動力になっています。いつか皆さんの生活が便利になるような成果を出せたらいいですね」と研究への熱意を語ってくれました。

柏崎の企業と協力しながら 柏崎ならではのIoT技術を提案

学生たちには、実際に使う人のことをよく考えて新しい切り口のアイデアを見つけてほしい、と指導しています。長い時間悩んで、これ以上のものはない



学生の研究成果にアドバイスをする堀教授

と思えたところからモノづくりが始まる。それがこの分野の魅力のひとつだと堀教授は話します。

「今後は柏崎市内の企業と協力しながら、その企業ならではのIoT技術や、柏崎ならではの課題を解決できる研究を進めていけたらと思っています」

私たちの生活の様々な場面で、堀教授を中心としたチームの研究の成果を見る日が楽しみです。

市民のみなさんにひとこと

私の研究では、生活に直結するような課題を多く取り扱っています。いつか、市民の方が持つ問題について話し合える場を作れたらと思っています。

IoTは「Internet of Things」の略称で、日本語では「モノのインターネット」と訳されます。スマートフォンの遠隔操作、車の自動運転など、様々な「モノ」がインターネットに接続され、近年続々と実用化が進んでいる先端テクノロジーです。



皆さんの生活に直結する、先端技術の研究を柏崎から発信します



新潟産業大学からお知らせ

「春のオープンキャンパス」

のご案内



大学HP

春休みにオープンキャンパスを来校型で開催します。本学に興味のある高校生や保護者の方はぜひご参加ください。

●日 時/2023年3月25日(土)
10:30~13:00(終了予定)

●内 容/学部・学科概要説明、
キャンパスツアー、在学生とのフリートークなど

●お申し込み/電話・Eメール・ホームページにて3月24日(金)まで
※無料送迎車を希望の方は22日(水)までにお申し込みください

●お問い合わせ/入試・広報課 TEL:0120-787-124

E-mail: nyushi@ada.nsu.ac.jp

※状況により変更となる場合がございます。最新の情報は本学ホームページをご確認ください。



新潟工科大学からお知らせ

市内の企業魅力発見・探究バスツアーを開催しました



大学HP

2月10日(金)と13日(月)に、本学1~3年生を対象とした企業魅力発見・探究バスツアーを開催し、28名の学生が参加しました。これは、学生が地域のものづくり企業を知り、学生視点から企業の魅力を提案することで、今後の大学での学びやキャリア形成の一助とすることを目的としたものです。

学生は、2日間で5社見学する「魅力発見コース」と、1社を集中して見学する「探究コース」に分かれ、市内の企業で見学や実習を行いました。その後大学へ戻り、それぞれが訪問した企業の魅力や学生の気づきをグループごとにとりまとめ、成果発表会を行いました。学生たちにとっては、これまで学んできたことと社会とのつながりについて認識を深める良い機会となりました。

ご協力いただきました企業の皆様へ、深く御礼申し上げます。



※この紙面はスタッフゼプト「柏崎サイズ」編集部が制作しています。